級別に取り組む、漢字の問題プリント

漢字ドリル

漢検 2 級

第58巻　問題のみ

読み、書き、くり返し。

35字

この巻で学ぶ漢字

この巻で取り組む漢字の一部

淫 湧 溺 潰 煎 爪

問題にじっくり取り組む

本文 27ページ・答えは各用紙のQRから

diglabo.com

diglabo

漢検の級別配当を参考にした独自教材です。公式問題集ではありません。

2きゅう 58かん たんい1 A

なまえ

/ 16

1. 風紀を乱す □ な行為を禁じる（みだら）
2. 飼い猫を □ する（てき）愛（あい）
3. 客に □ 茶（せん）（ちゃ）を出す
4. 小学校に入って □ 年（いち）（ねん）がたつ
5. お正月のある □ 月（いち）（がつ）は寒い（さむ）
6. □ れ谷（おぼ）（だに）に海水が入り込む
7. 草加の名物は □ 餅（せん）（べい）だ
8. 地下から温泉が 湧く □
9. ゆでたジャガイモを 潰す □
10. ピアノを弾く前に 爪 を短く切る □
11. 汽車 がけむりを出して走る □
12. 名水百選の 湧水 をくむ □
13. ストレスで胃に 潰瘍 ができる □
14. 経営難で老舗の旅館が 潰れる □
15. 汽船 が海をわたって外国へ行く □
16. 冬の朝は 爪先 まで冷える □

KanjiVG © Ulrich Apel (CC BY-SA 3.0) / KANJIDIC2 & JMdict © EDRDG (CC BY-SA 4.0)
Edited by diglabo | Sources & licenses: diglabo.com/ja/kanji/workbooks/credits/pilot-2026-10

2きゅう 58かん たんい1 B

なまえ

/ 16

1. 名水百選の□(ゆう)水(すい)をくむ
2. ストレスで胃に□(かい)瘍(よう)ができる
3. □(つま)先(さき)まで神経を使って踊る
4. おじいさんは□(き)車(しゃ)で通学した
5. 大きな□(き)船(せん)が港(みなと)に入る
6. 温泉の□(ゆう)出(しゅつ)量(りょう)を測る
7. 暇(ひま)□(つぶ)しにパズルを解く
8. 台風の□(つめ)痕(あと)が残る
9. 風紀を乱す淫ら な行為を禁じる
10. 飼い猫を 溺 愛 する
11. 節分の豆を 煎 る
12. おやつのクッキーを 一 つ ずつくばる
13. 長く降り続く 淫 雨 に田畑が傷む
14. 着衣で泳ぐと 溺 れ る 危険がある
15. 客に 煎 茶 を出す
16. カレンダーをめくると六月 一 日 だった

KanjiVG © Ulrich Apel (CC BY-SA 3.0) / KANJIDIC2 & JMdict © EDRDG (CC BY-SA 4.0)
Edited by diglabo | Sources & licenses: diglabo.com/ja/kanji/workbooks/credits/pilot-2026-10

2きゅう 58かん たんい2 A

なまえ

/ 15

1. 朝の目覚めが 快(そう)(かい) だ
2. 的に い(ねら) を定める
3. 電車が川の 鉄(てっ)(きょう) をわたる
4. 谷の つり(ばし) がゆれる
5. 高原に (さわやか) な風が吹く
6. 敵を い撃(ねら)(う)ち する
7. 国際条約で 象牙 の取引を禁じる
8. 木製の 玩具 を作る工房
9. 古代の王が 瑠璃 を珍重した
10. お茶作りがさかんな 静岡 県
11. 王者の 牙城 を崩す
12. 王座奪還へ 牙を研ぐ
13. おばあちゃんが 岡山 県から送ってくれたもも
14. 犬や猫などの 愛玩動物 を飼う
15. 瑠璃 の玉を連ねた首飾りが出土する

KanjiVG © Ulrich Apel (CC BY-SA 3.0) / KANJIDIC2 & JMdict © EDRDG (CC BY-SA 4.0)
Edited by diglabo | Sources & licenses: diglabo.com/ja/kanji/workbooks/credits/pilot-2026-10

2きゅう 58かん たんい2 A-2

なまえ

/ 14

1. 正倉院の宝物に［る］璃（り）の杯がある
2. 歩（ほ）道（どう）［きょう］で道路をわたる
3. 石（いし）［ばし］をたたいてわたる
4. 炭酸の［そう］快（かい）感（かん）が好きだ
5. ［そう］秋（しゅう）の候と手紙に書く
6. 旅行は平日が［ねら］い目（め）だ
7. 要人を［そ］撃（げき）から守る
8. 近松が浄（じょう）［る］璃（り）を書く
9. 静岡県の港でマグロを見た
10. 九州で一番人口の多い福岡県
11. 保守派の牙城が揺らぐ
12. かつてピアノの白鍵には象牙が使われた
13. 古典を熟読玩味する
14. 幼児向けの教育玩具を選ぶ

KanjiVG © Ulrich Apel (CC BY-SA 3.0) / KANJIDIC2 & JMdict © EDRDG (CC BY-SA 4.0)
Edited by diglabo | Sources & licenses: diglabo.com/ja/kanji/workbooks/credits/pilot-2026-10

2きゅう 58かん たんい2 B

なまえ

/ 14

1. 国際条約で 象(ぞう) □(げ) の取引を禁じる
2. 木製の □(がん) 具(ぐ) を作る工房
3. お茶作りがさかんな 静(しず) □(おか) 県
4. 岩手県の 盛(もり) □(おか) 市に行く
5. 高齢者が詐欺の 毒(どく) □(が) にかかる
6. 小鳥を 愛(あい) □(がん) する
7. 朝の目覚めが 爽快だ □
8. 次の大会で優勝を 狙う □
9. 正倉院の宝物に 瑠璃 の杯がある □
10. 川にかかる 橋 を歩いてわたる □
11. 高原に 爽やか な風が吹く □
12. 要人を 狙撃 から守る □
13. 小川にかかる 一本橋 をそろそろわたる □
14. 仏典では 瑠璃 を七宝の一つに数える □

KanjiVG © Ulrich Apel (CC BY-SA 3.0) / KANJIDIC2 & JMdict © EDRDG (CC BY-SA 4.0)
Edited by diglabo | Sources & licenses: diglabo.com/ja/kanji/workbooks/credits/pilot-2026-10

2きゅう 58かん たんい2 B-2

なまえ

/ 13

1. 古代の王が 瑠(る) □(り) を珍重した
2. 九州の 福(ふく) □(おか) 県に住むいとこ
3. □(おか) 山(やま) 県は晴れの日が多い
4. 王者の □(が) 城(じょう) を崩す
5. 壁を 象(ぞう) □(げ) 色(いろ) に塗る
6. 郷(きょう) 土(ど) □(がん) 具(ぐ) を集める
7. 浄(じょう) 瑠(る) □(り) の三味線を習う
8. 山の谷にかかる つり橋 □ はよくゆれる
9. 音楽が国と国の かけ橋 □ になる
10. 山頂に着いて 爽快 な気分になる □
11. 爽やか な笑顔で挨拶する □
12. 企画の 狙い を説明する □
13. 作戦が 狙い通り に進む □

KanjiVG © Ulrich Apel (CC BY-SA 3.0) / KANJIDIC2 & JMdict © EDRDG (CC BY-SA 4.0)
Edited by diglabo | Sources & licenses: diglabo.com/ja/kanji/workbooks/credits/pilot-2026-10

2きゅう 58かん たんい3 A

なまえ

/ 16

1. 準備を完（かん）□（べき）に整えて本番に臨む
2. 師の人柄に□（い）敬（けい）の念を抱く
3. 古代都市の□（こん）跡（せき）が見つかる
4. 港に大（おお）□（がた）の船が着く
5. 父と模（も）□（けい）の飛行機を作る
6. 二人は日本画壇の双（そう）□（へき）とされる
7. 古代の人々は雷を□（い）怖（ふ）した
8. 半紙に残る墨（ぼっ）□（こん）が力強い
9. 内部対立で組織が瓦解する □
10. 修学旅行で近畿を巡る □
11. 小説の名探偵は痩身だ □
12. 選挙で政党の考えを比べる □
13. 寺の屋根に鬼瓦を据える □
14. 肥料をやらないと畑の土が痩せる □
15. 新しい政党ができたとニュースで知る □
16. 梅雨前線の影響で近畿の各地に大雨が降る □

KanjiVG © Ulrich Apel (CC BY-SA 3.0) / KANJIDIC2 & JMdict © EDRDG (CC BY-SA 4.0)
Edited by diglabo | Sources & licenses: diglabo.com/ja/kanji/workbooks/credits/pilot-2026-10

2きゅう 58かん たんい3 B

なまえ

/ 16

1. 内部対立で組織が□が解(かい)する
2. 修学旅行で近(きん)□き を巡る
3. 小説の名探偵は□そう身(しん)だ
4. 選挙で政(せい)□とう の考えを比べる
5. テレビで□とう首(しゅ)どうしが話し合う
6. 寺の屋根に鬼(おに)□がわら を据える
7. 古代の都は□き内(ない)に置かれた
8. □や せ我(が)慢(まん)をする
9. 準備を 完璧 に整えて本番に臨む
10. 師の人柄に 畏敬 の念を抱く
11. 古代都市の 痕跡 が見つかる
12. 星の 型 でクッキーの生地をぬく
13. 山の神を 畏れる 心を忘れない
14. 遠足で 大型 バスに乗る
15. 発表の資料を 完璧 に仕上げる
16. 氷河が削った 痕跡 が谷に残る

KanjiVG © Ulrich Apel (CC BY-SA 3.0) / KANJIDIC2 & JMdict © EDRDG (CC BY-SA 4.0)
Edited by diglabo | Sources & licenses: diglabo.com/ja/kanji/workbooks/credits/pilot-2026-10

2きゅう 58かん ふりかえり3 A

なまえ

/ 24

1. 風紀を乱す［　　］な行為を禁じる（みだら）
2. 飼い猫を［　　］愛（あい）する（でき）
3. 客に［　　］茶（ちゃ）を出す（せん）
4. 朝の目覚めが［　　］快（かい）だ（そう）
5. 的に［　　］い（ねら）を定める
6. 準備を完（かん）［　　］に整えて本番に臨む（べき）
7. 師の人柄に［　　］敬（けい）の念を抱く（い）
8. 古代都市の［　　］跡（せき）が見つかる（こん）
9. 小学校に入って［　　］年（ねん）がたつ（いち）
10. 電車が川の鉄（てつ）［　　］をわたる（きょう）
11. 港に大（おお）［　　］の船が着く（がた）
12. 赤いえんぴつを［　　］本（ぽん）かりる（いっ）
13. 地下から温泉が湧く［　　］
14. ゆでたジャガイモを潰す［　　］
15. ピアノを弾く前に爪を短く切る［　　］
16. 国際条約で象牙の取引を禁じる［　　］
17. 木製の玩具を作る工房［　　］
18. 古代の王が瑠璃を珍重した［　　］
19. 内部対立で組織が瓦解する［　　］
20. 修学旅行で近畿を巡る［　　］
21. 小説の名探偵は痩身だ［　　］
22. 汽車がけむりを出して走る［　　］
23. お茶作りがさかんな静岡県［　　］
24. 選挙で政党の考えを比べる［　　］

KanjiVG © Ulrich Apel (CC BY-SA 3.0) / KANJIDIC2 & JMdict © EDRDG (CC BY-SA 4.0)
Edited by diglabo | Sources & licenses: diglabo.com/ja/kanji/workbooks/credits/pilot-2026-10

2きゅう 58かん ふりかえり3 A-2

なまえ

/ 24

1. 正倉院の宝物に□る璃の杯がある
2. お正月のある□いち月は寒い
3. 道で□いち円玉を見つけた
4. 父と模□けいの飛行機を作る
5. 手芸で□かた紙に合わせて布を切る
6. 歩道□きょうで道路をわたる
7. 石□ばしをたたいてわたる
8. □おぼれ谷に海水が入り込む
9. 着衣で泳ぐと□おぼれる危険がある
10. 草加の名物は□せん餅だ
11. チョコレートを湯□せんで溶かす
12. 炭酸の□そう快感が好きだ
13. 新しい政党ができたとニュースで知る
14. 駅前で党首が演説する
15. 静岡県の港でマグロを見た
16. おばあちゃんが岡山県から送ってくれたもも
17. 汽船が海をわたって外国へ行く
18. 夜汽車のまどから星を見る
19. 富士山の湧水が池を満たす
20. 山の斜面から冷たい水が湧き出る
21. ピロリ菌の除菌で胃潰瘍の再発を防ぐ
22. 重みで段ボール箱が潰れる
23. 冬の朝は爪先まで冷える
24. 縁側で三味線を爪弾く

KanjiVG © Ulrich Apel (CC BY-SA 3.0) / KANJIDIC2 & JMdict © EDRDG (CC BY-SA 4.0)
Edited by diglabo | Sources & licenses: diglabo.com/ja/kanji/workbooks/credits/pilot-2026-10

2きゅう 58かん ふりかえり3 B

なまえ

/ 24

1. 名水百選の□(ゆう)水(すい)をくむ
2. ストレスで胃に□(かい)瘍(よう)ができる
3. □(つま)先(さき)まで神経を使って踊る
4. 国際条約で象(ぞう)□(げ)の取引を禁じる
5. 木製の□(がん)具(ぐ)を作る工房
6. 内部対立で組織が□(が)解(かい)する
7. 修学旅行で近(きん)□(き)を巡る
8. 小説の名探偵は□(そう)身(しん)だ
9. おじいさんは□(き)車(しゃ)で通学した
10. お茶作りがさかんな静(しず)□(おか)県
11. 選挙で政(せい)□(とう)の考えを比べる
12. 風紀を乱す淫ら な行為を禁じる
13. 飼い猫を 溺 愛 する
14. 節分の豆を 煎 る
15. 朝の目覚めが 爽 快 だ
16. 次の大会で優勝を 狙 う
17. 正倉院の宝物に 瑠 璃 の杯がある
18. 準備を 完 璧 に整えて本番に臨む
19. 師の人柄に 畏 敬 の念を抱く
20. 古代都市の 痕 跡 が見つかる
21. おやつのクッキーを 一 つ ずつくばる
22. 川にかかる 橋 を歩いてわたる
23. 星の 型 でクッキーの生地をぬく
24. 入学したばかりの 一 年 生 が校庭(てい)にならぶ

KanjiVG © Ulrich Apel (CC BY-SA 3.0) / KANJIDIC2 & JMdict © EDRDG (CC BY-SA 4.0)
Edited by diglabo | Sources & licenses: diglabo.com/ja/kanji/workbooks/credits/pilot-2026-10

2きゅう 58かん ふりかえり3 B-2

なまえ

/ 24

1. 古代の王が 瑠(る) □(り) を珍重した
2. テレビで □(とう) 首(しゅ) どうしが話し合う
3. 国会で 野(や) □(とう) が質問する
4. 九州の 福(ふく) □(おか) 県に住むいとこ
5. □(おか) 山(やま) 県は晴れの日が多い
6. 大きな □(き) 船(せん) が港(みなと)に入る
7. 船の □(き) 笛(てき) がボーッと鳴る
8. 温泉の □(ゆう) 出量(しゅつりょう) を測る
9. 岩間から □(わ) き水(みず) が流れる
10. 暇(ひま) □(つぶ) し にパズルを解く
11. 大失態で面目 丸(まる) □(つぶ) れ だ
12. 台風の □(つめ) 痕(あと) が残る
13. □ カレンダーをめくると六月 一日 だった
14. □ 雨がふって 一日中 外(そと)で遊(あそ)べない
15. □ 遠足で 大型 バスに乗る
16. □ 兄は 小型 のラジオで天気予報を聞く
17. □ 山の谷にかかる つり橋 はよくゆれる
18. □ 音楽が国と国の かけ橋 になる
19. □ 長く降り続く 淫雨 に田畑が傷む
20. □ 若い頃は読書に 淫する ほどだった
21. □ 祖父が末の孫を 溺愛 する
22. □ 三陸海岸には 溺れ谷 が多い
23. □ 朝は 煎茶 を一杯飲む
24. □ 漢方の 煎じ薬 を飲む

KanjiVG © Ulrich Apel (CC BY-SA 3.0) / KANJIDIC2 & JMdict © EDRDG (CC BY-SA 4.0)
Edited by diglabo | Sources & licenses: diglabo.com/ja/kanji/workbooks/credits/pilot-2026-10

2きゅう 58かん たんい4 A

なまえ

/ 16

1. 腫（しゅ）□（よう）の有無を検査で調べる
2. 合宿で部員の親（しん）□（ぼく）を深める
3. □（どう）孔（こう）の大きさを測る
4. 駅前のパン屋は七時に□（へい）店（てん）する
5. 口の中に潰（かい）□（よう）ができる
6. 両国が和（わ）□（ぼく）を結ぶ
7. 暗がりで散（さん）□（どう）が起こる
8. 運動会の□（へい）会（かい）のあいさつをする
9. この短編は全集の中でも白眉だ
10. 明瞭な発音で話す
11. 道場で剣道の稽古に励む
12. 青信号で横断歩道を渡る
13. 考え込んで眉根を寄せる
14. 山頂から町を見渡す
15. 一目瞭然の差がついた
16. 茶道の稽古を毎週続けている

KanjiVG © Ulrich Apel (CC BY-SA 3.0) / KANJIDIC2 & JMdict © EDRDG (CC BY-SA 4.0)
Edited by diglabo | Sources & licenses: diglabo.com/ja/kanji/workbooks/credits/pilot-2026-10

2きゅう 58かん たんい4 B

なまえ

/ 16

1. この短編は全集の中でも 白(はく)□(び)だ
2. 明(めい)□(りょう)な発音で話す
3. 道場で剣道の□(けい)古(こ)に励む
4. 海外への□(と)航(こう)が制限される
5. □(と)来(らい)した人々が技術を伝えた
6. 考え込んで□(まゆ)根(ね)を寄せる
7. 不(ふ)明(めい)□(りょう)な会計を改める
8. 喜劇役者の滑(こっ)□(けい)なしぐさに笑う
9. □ 腫瘍 の有無を検査で調べる
10. □ 合宿で部員の 親睦 を深める
11. □ 澄んだ 瞳 で未来を見つめる
12. □ 駅前のパン屋は七時に 閉店 する
13. □ 瞳孔 の大きさを測る
14. □ 定期健診で 胃潰瘍 が見つかる
15. □ 町内会が住民の 親睦 を図る
16. □ 近所の古い本屋が 閉店 すると聞いて悲しい

KanjiVG © Ulrich Apel (CC BY-SA 3.0) / KANJIDIC2 & JMdict © EDRDG (CC BY-SA 4.0)
Edited by diglabo | Sources & licenses: diglabo.com/ja/kanji/workbooks/credits/pilot-2026-10

2きゅう 58かん たんい5 A

なまえ

/ 17

1. 探検隊が海辺の洞（どう）□（くつ）に入る
2. 菜（さい）□（ばし）で天ぷらを揚げる
3. 計画が破（は）□（たん）する
4. 政府が国（こく）□（さい）を発行する
5. 多額の負（ふ）□（さい）を抱える会社
6. 崖を掘った石（せっ）□（くつ）が並ぶ
7. 弁当に割（わ）り□（ばし）を添える
8. 経（けい）営（えい）破（は）□（たん）を防ぐ
9. 便箋に礼状を書く □
10. 兵糧が尽きるまで籠城を続ける □
11. 緻密な計画を立てる □
12. 目の粗いざるで豆の水を切る □
13. インコを鳥籠で飼う □
14. 籠る □
15. 季節の花柄の便箋を選ぶ □
16. 物語の粗筋を三行にまとめる □
17. 緻密なデータ分析で結論を導く □

KanjiVG © Ulrich Apel (CC BY-SA 3.0) / KANJIDIC2 & JMdict © EDRDG (CC BY-SA 4.0)
Edited by diglabo | Sources & licenses: diglabo.com/ja/kanji/workbooks/credits/pilot-2026-10

2きゅう 58かん たんい5 B

なまえ

/ 16

1. 便(びん)□(せん)に礼状を書く
2. 兵糧が尽きるまで□(ろう)城(じょう)を続ける
3. □(ち)密(みつ)な計画を立てる
4. 食べ物を□(そ)末(まつ)にしない
5. 薬局に処(しょ)方(ほう)□(せん)を出す
6. お盆に川へ灯(とう)□(ろう)を流す
7. 開店記念に来店者へ□(そ)品(しな)を配る
8. 精(せい)□(ち)な彫刻に見入る
9. 探検隊が海辺の洞窟に入る
10. 焼き魚の身を箸でほぐす
11. 計画が破綻する
12. 政府が国債を発行する
13. 制度の綻びが目立つ
14. 借りたお金を債権者に返す
15. 雨宿りのため洞窟に身を寄せる
16. 使い捨ての割り箸を減らす

KanjiVG © Ulrich Apel (CC BY-SA 3.0) / KANJIDIC2 & JMdict © EDRDG (CC BY-SA 4.0)
Edited by diglabo | Sources & licenses: diglabo.com/ja/kanji/workbooks/credits/pilot-2026-10

2きゅう 58かん たんい6 A

なまえ

/ 13

1. 観客席から［　　］ば声（せい）が飛ぶ
2. 周囲の［　　］せん望（ぼう）を集める
3. 駅まで大（おお）［　　］また で急ぐ
4. 白髪の老（ろう）［　　］おう が昔を語る
5. 相手を［　　］ば倒（とう）する行為は反則だ
6. ［　　］せん望（ぼう）の的（まと）となる
7. 準備運動で［　　］こ関（かん）節（せつ）を回す
8. 人前で失敗して［　　］羞恥を覚える
9. 机に［　　］肘をついて考え込む
10. 上司に［　　］妊娠を報告する
11. ［　　］妊娠と出産を支える制度
12. 思春期は［　　］羞恥心が強くなる
13. ［　　］肩肘を張らずに自然体で臨む

KanjiVG © Ulrich Apel (CC BY-SA 3.0) / KANJIDIC2 & JMdict © EDRDG (CC BY-SA 4.0)
Edited by diglabo | Sources & licenses: diglabo.com/ja/kanji/workbooks/credits/pilot-2026-10

2きゅう 58かん たんい6 B

なまえ

/ 15

1. 人前で失敗して □しゅう 恥ち を覚える
2. 肩かた □ひじ 張った文章を改める
3. 上司に 妊にん □しん を報告する
4. 妊にん □しん 中ちゅう は飲酒を控える
5. 含がん □しゅう を帯びた笑顔を見せる
6. □ひじ 掛か け にもたれる
7. 口論の末に互いを 罵る □
8. 他人の幸運を 羨む □
9. 駅まで 大股 で急ぐ □
10. 村の 老翁 に昔の祭りの話を聞く □
11. 観客席から 罵声 が飛ぶ □
12. 周囲の 羨望 を集める □
13. 二人は 羨ましい ほど仲がよい □
14. 準備運動で 股関節 を回す □
15. 慶応義塾の創立者が書いた 福翁自伝 □

KanjiVG © Ulrich Apel (CC BY-SA 3.0) / KANJIDIC2 & JMdict © EDRDG (CC BY-SA 4.0)
Edited by diglabo | Sources & licenses: diglabo.com/ja/kanji/workbooks/credits/pilot-2026-10

2きゅう 58かん ふりかえり6 A

なまえ

/ 24

1. 風紀を乱す［みだら］な行為を禁じる
2. 客に［せん］茶（ちゃ）を出す
3. 朝の目覚めが［そう］快（かい）だ
4. 正倉院の宝物に［る］璃（り）の杯がある
5. 準備を完（かん）［ぺき］に整えて本番に臨む
6. 古代都市の［こん］跡（せき）が見つかる
7. 腫（しゅ）［よう］の有無を検査で調べる
8. ［どう］孔（こう）の大きさを測る
9. 探検隊が海辺の洞（どう）［くつ］に入る
10. 計画が破（は）［たん］する
11. 観客席から［ば］声（せい）が飛ぶ
12. 駅まで大（おお）［また］で急ぐ
13. 飼い猫を溺愛する
14. 次の大会で優勝を狙う
15. 師の人柄に畏敬の念を抱く
16. 合宿で部員の親睦を深める
17. 焼き魚の身を箸でほぐす
18. 他人の幸運を羨む
19. おやつのクッキーを一つずつくばる
20. 川にかかる橋を歩いてわたる
21. 星の型でクッキーの生地をぬく
22. 駅前のパン屋は七時に閉店する
23. 政府が国債を発行する
24. 村の老翁に昔の祭りの話を聞く

KanjiVG © Ulrich Apel (CC BY-SA 3.0) / KANJIDIC2 & JMdict © EDRDG (CC BY-SA 4.0)
Edited by diglabo | Sources & licenses: diglabo.com/ja/kanji/workbooks/credits/pilot-2026-10

2きゅう 58かん ふりかえり6 B

なまえ

/ 24

1. ストレスで胃に□(かい)瘍(よう)ができる
2. 木製の□(がん)具(ぐ)を作る工房
3. 修学旅行で近(きん)□(き)を巡る
4. 明(めい)□(りょう)な発音で話す
5. 兵糧が尽きるまで□(ろう)城(じょう)を続ける
6. 肩(かた)□(ひじ)張った文章を改める
7. おじいさんは□(き)車(しゃ)で通学した
8. お茶作りがさかんな静(しず)□(おか)県
9. 選挙で政(せい)□(とう)の考えを比べる
10. 海外への□(と)航(こう)が制限される
11. 食べ物を□(そ)末(まつ)にしない
12. テレビで□(とう)首(しゅ)どうしが話し合う
13. 地下から温泉が湧く
14. ピアノを弾く前に爪を短く切る
15. 国際条約で象牙の取引を禁じる
16. 古代の王が瑠璃を珍重した
17. 内部対立で組織が瓦解する
18. 小説の名探偵は痩身だ
19. この短編は全集の中でも白眉だ
20. 道場で剣道の稽古に励む
21. 便箋に礼状を書く
22. 緻密な計画を立てる
23. 人前で失敗して羞恥を覚える
24. 上司に妊娠を報告する

KanjiVG © Ulrich Apel (CC BY-SA 3.0) / KANJIDIC2 & JMdict © EDRDG (CC BY-SA 4.0)
Edited by diglabo | Sources & licenses: diglabo.com/ja/kanji/workbooks/credits/pilot-2026-10

2きゅう 58かん かん字のしくみ 1

なまえ

/ 18

1. 淫
2. 湧
3. 溺
4. 潰
5. 煎
6. 爪

7. 爽
8. 牙
9. 狙
10. 玩
11. 瑠
12. 璃

13. 璧
14. 瓦
15. 畏
16. 畿
17. 痕
18. 痩

部首

KanjiVG © Ulrich Apel (CC BY-SA 3.0) / KANJIDIC2 & JMdict © EDRDG (CC BY-SA 4.0)
Edited by diglabo | Sources & licenses: diglabo.com/ja/kanji/workbooks/credits/pilot-2026-10

2きゅう 58かん かん字のしくみ 2

なまえ

/ 17

6 稽

部首

5 瞳

部首

4 瞭

部首

3 睦

部首

2 眉

部首

1 瘍

部首

12 緻

部首

11 綻

部首

10 籠

部首

9 箸

部首

8 箋

部首

7 窟

部首

17 股

部首

16 肘

部首

15 羨

部首

14 羞

部首

13 罵

部首

KanjiVG © Ulrich Apel (CC BY-SA 3.0) / KANJIDIC2 & JMdict © EDRDG (CC BY-SA 4.0)
Edited by diglabo | Sources & licenses: diglabo.com/ja/kanji/workbooks/credits/pilot-2026-10

2きゅう 58かん ふたつのよみ

なまえ

/ 24

次の――線の漢字の読みをひらがなで□に記せ。

1. 公序良俗に反する 淫ら な表現を規制する
2. 若い頃は読書に 淫する ほどだった
3. 泉が 湧き出る
4. 湧出量 の多い温泉地を巡る
5. 成功の喜びに 溺れる ことなく努力を続ける
6. 一つの趣味に 惑溺する
7. ピロリ菌の除菌で 胃潰瘍 の再発を防ぐ
8. 暇潰し にパズルを解く
9. 爽やか な笑顔で挨拶する
10. 山頂に着いて 爽快 な気分になる
11. 国際条約で 象牙 の取引を禁じる
12. 王座奪還へ 牙を研ぐ
13. 作戦が 狙い通り に進む
14. 要人を 狙撃 から守る
15. 内部対立で組織が 瓦解 する
16. 屋根瓦 が強風で飛ばされる
17. 彼は学生時代からの 畏友 だ
18. 社長直々のお言葉とは 畏れ多い
19. 痩せ型 の体質で太りにくい
20. 小説の名探偵は 痩身 だ
21. 眉目秀麗 な若武者の肖像画が残る
22. 考え込んで 眉根 を寄せる
23. 救急隊員が 瞳孔反射 を確かめる
24. 澄んだ 瞳 で未来を見つめる

KanjiVG © Ulrich Apel (CC BY-SA 3.0) / KANJIDIC2 & JMdict © EDRDG (CC BY-SA 4.0)
Edited by diglabo | Sources & licenses: diglabo.com/ja/kanji/workbooks/credits/pilot-2026-10

2きゅう 58かん じゅくごのくみたて

なまえ

/ 20

二字の意味のつながりを考え、合う説明の記号を書きましょう。

- ア 意味の近い二字
- イ 反対の意味や対になる二字
- ウ 前の字が、後ろの字の様子や種類を示す
- エ 後ろの字が、前の字の動作の対象を示す
- オ 前の字が、後ろの字の意味を否定する

1. 惑溺 □
2. 煎茶 □
3. 爪痕 □
4. 爽快 □
5. 毒牙 □
6. 狙撃 □

7. 愛玩 □
8. 双璧 □
9. 瓦版 □
10. 畏敬 □
11. 痕跡 □
12. 腫瘍 □
13. 白眉 □
14. 親睦 □

15. 明瞭 □
16. 洞窟 □
17. 便箋 □
18. 菜箸 □
19. 竹籠 □
20. 破綻 □

KanjiVG © Ulrich Apel (CC BY-SA 3.0) / KANJIDIC2 & JMdict © EDRDG (CC BY-SA 4.0)
Edited by diglabo | Sources & licenses: diglabo.com/ja/kanji/workbooks/credits/pilot-2026-10

2きゅう 58かん ごじをなおす

なまえ

/ 24

次の文にまちがって使われている同じ読みの漢字が一字ある。上に誤字を、下に正しい漢字を書きなさい。

1. 名水百選の雄水をくむ
   誤 ［　］ 正 ［　］
2. ストレスで胃に楷瘍ができる
   誤 ［　］ 正 ［　］
3. 前作の二番戦じだ
   誤 ［　］ 正 ［　］
4. 争秋の候と手紙に書く
   誤 ［　］ 正 ［　］
5. 高齢者が詐欺の毒我にかかる
   誤 ［　］ 正 ［　］
6. 要人を塑撃から守る
   誤 ［　］ 正 ［　］
7. 木製の岸具を作る工房
   誤 ［　］ 正 ［　］
8. 正倉院の宝物に流璃の杯がある
   誤 ［　］ 正 ［　］
9. 内部対立で組織が雅解する
   誤 ［　］ 正 ［　］
10. 彼は学生時代からの萎友だ
    誤 ［　］ 正 ［　］
11. 古代の都は騎内に置かれた
    誤 ［　］ 正 ［　］
12. 半紙に残る墨根が力強い
    誤 ［　］ 正 ［　］
13. 小説の名探偵は曽身だ
    誤 ［　］ 正 ［　］
14. 味間のしわを指で伸ばす
    誤 ［　］ 正 ［　］
15. 両国が和木を結ぶ
    誤 ［　］ 正 ［　］
16. 明良な発音で話す
    誤 ［　］ 正 ［　］
17. 堂孔反射を調べる
    誤 ［　］ 正 ［　］
18. 荒唐無刑と退ける
    誤 ［　］ 正 ［　］
19. 崖を掘った石屈が並ぶ
    誤 ［　］ 正 ［　］
20. 一筆浅に用件を書く
    誤 ［　］ 正 ［　］
21. お盆に川へ灯廊を流す
    誤 ［　］ 正 ［　］
22. 経営破探を防ぐ
    誤 ［　］ 正 ［　］
23. 職人が巧質な細工を施す
    誤 ［　］ 正 ［　］
24. 観客席から婆声が飛ぶ
    誤 ［　］ 正 ［　］

KanjiVG © Ulrich Apel (CC BY-SA 3.0) / KANJIDIC2 & JMdict © EDRDG (CC BY-SA 4.0)
Edited by diglabo | Sources & licenses: diglabo.com/ja/kanji/workbooks/credits/pilot-2026-10

2きゅう 58かん おなじおんのかんじ

なまえ

/ 24

次のカタカナを漢字に直して、□に記せ。

1. 名水百選の□水(ユウスイ)をくむ
2. 市が新しい工場を□致(ユウチ)する
3. 見出しを□書体(カイショタイ)にする
4. ストレスで胃に□瘍(カイヨウ)ができる
5. チョコレートを湯(ゆ)□(センで溶かす
6. 一筆(いっぴつ)□(センに用件を書く
7. 朝の目覚めが□快(ソウカイ)だ
8. □祖父(ソフ)は明治生まれだ
9. 国際条約で象(ぞう)□(ゲの取引を禁じる
10. かさをさして□校(ゲコウ)する
11. 要人を□撃(ソゲキ)から守る
12. □雑(ソザツ)な扱いで荷物が壊れる
13. 理科の本で□球(ガンきゅう)のつくりを見る
14. 郷土(きょうど)□具(ガング)を集める
15. 海が□璃色(ルリいろ)に輝く
16. 母の□守(ルす)に弟の世話をする
17. 海に面した絶(ぜっ)□(ベキを見上げる
18. 完(かん)□主義(ベキしゅぎ)を改める
19. 家族(ぞく)で映(えい)□(ガを見に行く
20. 内部対立で組織が□解(ガかい)する
21. 古代の人々は雷を□怖(イふ)した
22. 読書で語(ご)□(イを増やす
23. 古代の都は□内(キない)に置かれた
24. 評価は□誉(キよ)相半ばする

KanjiVG © Ulrich Apel (CC BY-SA 3.0) / KANJIDIC2 & JMdict © EDRDG (CC BY-SA 4.0)
Edited by diglabo | Sources & licenses: diglabo.com/ja/kanji/workbooks/credits/pilot-2026-10

2きゅう 58かん おなじくんのかんじ

なまえ

/ 24

次のカタカナを漢字に直して、□に記せ。

1. 新しい企画のアイデアが□く（ワ）
2. やかんの湯が□く（ワ）
3. 大（おお）□の雨が降り出す（ツブ）
4. せっかくの休日を雑用で□す（ツブ）
5. 銅を溶かして風鈴（りん）を□る（イ）
6. フライパンでごまを□る（イ）
7. 台風の□痕（あと）が残る（ツメ）
8. 冬の朝の水道の水は□たい（ツメ）
9. 高原に□やかな風が吹く（サワ）
10. 夏に□登（のぼ）りを楽しむ（サワ）
11. 寒さで□毛（げ）まで白く凍る（マユ）
12. 山（やま）□の糸で織った高級な絹（マユ）
13. □休（やす）めに漬物を出す（ハシ）
14. 朝は犬と公園を□る（ハシ）
15. 借りた本を□貸（が）しする（マタ）
16. 駅まで大（おお）□で急ぐ（マタ）
17. 仲間を救うため危険を□す（オカ）
18. お茶作りがさかんな静（しず）□県（オカ）
19. 将来（しょう）の夢（ゆめ）を□る（カタ）
20. 手芸で□紙（がみ）に合わせて布を切る（カタ）
21. ふとんに真（ま）□を入れる（ワタ）
22. 青信号で横断歩道を□る（ワタ）
23. この紙は表面のきめが□い（アラ）
24. 彼は金遣いが□い（アラ）

KanjiVG © Ulrich Apel (CC BY-SA 3.0) / KANJIDIC2 & JMdict © EDRDG (CC BY-SA 4.0)
Edited by diglabo | Sources & licenses: diglabo.com/ja/kanji/workbooks/credits/pilot-2026-10